

## 臨床データ利用のお願い

QST 病院では、膵臓がん患者さまの検査に使われた血液と、過去に診療で使われた医療情報（カルテ・画像・検査のデータ）を用いて、血中の sIL-6R（可溶性インターロイキン 6 受容体）濃度と重粒子線治療の効果を解析する研究を実施致します。この研究の成果は、現在、膵臓がんと闘う人々だけでなく、将来の世代の人々をがんから救うことができる可能性を秘めています。

本研究は、当研究所倫理審査委員会にて承認されました研究計画書に基づき試験は実施され、その研究計画書や関連資料は閲覧していただくことができます。研究責任者にご連絡ください（問い合わせ先：10 の[研究計画書や関連資料についての問い合わせ]）。

当研究により皆様に新たに生じるご負担は一切なく、また新たに検査を追加することもございません。また、住所・氏名といった患者さま個人を特定する情報(個人情報)は、厳重な監視のもとで管理しており、万が一、情報が外部に漏れた場合でも、皆さま個人に及ぼす不利益が最小限となるような対策をとっています。

本研究に関してご質問のある方や、本研究への協力を望まれない方につきましては、お手数でございますが 2018 年 12 月 31 日までに QST 病院までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

本研究は、皆様の過去の診療情報を解析することで、同じ疾患に悩む患者さまの治療改善のために役立つものと考え実施されます。何卒、ご理解ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

### 1. 対象となる方

当院で重粒子線治療を受けた膵臓がん患者様

### 2. 研究課題名

血中可溶性インターロイキン 6 受容体（sIL-6R）と重粒子線治療効果の関連解析

### 3. 研究実施機関

国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 QST 病院

国立がん研究センター研究所（「7. 利用する患者さまの情報」のみ提供であり、個人を識別できる情報が提供されることはありません。）

### 4. 責任者名

国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構

QST 病院 重粒子治療研究部 武島 嗣英

国立がん研究センター研究所 早期診断バイオマーカー開発部門 本田 一文

### 5. 本研究の意義・目的・方法

本研究では 膵臓がん と診断され重粒子線治療の治療を受ける前にいただいた血液中の sIL-6R 濃度

と治療後の臨床経過を比較し、sIL-6R が治療効果の予測や予後の予測の指標になるかの可能性を検証することが目的です。

## 6. 研究対象

2015年5月から2018年12月の間に当院で膵臓がんの治療を受けた患者さまが対象となります。

## 7. 利用する患者さまの情報

患者さまの情報（年齢、性別）、病気の情報（病名、組織型、腫瘍サイズ、病歴、既往症）、重粒子線治療の情報（治療計画 CT 画像、照射方法、照射門数、標的線量/分割/治療期間、併用療法（化学療法、手術）、治療開始日など）、治療効果と関連する項目、患者さまからいただいた血液から得られる情報

## 8. 個人情報の取扱い方法

この研究では、患者さまの個人情報（氏名、住所など）は使用しません。また、患者さま個人が特定されるような研究結果の公表は致しません。具体的には、症例データを匿名化して収集し、それらを統計的に解析し、その結果を個人が特定できないようなデータとして学会や論文で研究結果を発表します。

## 9. 本研究の実施期間

2018年6月25日～2024年12月31日（研究期間：6年）

## 10. 問い合わせ・苦情等の相談窓口（連絡先）

QST 病院メディカルデータバンク 同意・相談窓口

【所在地】〒263-8555 千葉県稲毛区穴川4-9-1

【電話】 043-206-3306

[研究計画書や関連資料についての問い合わせ]

QST 病院 重粒子治療研究部

研究責任者 武島 嗣英

【所在地】〒263-8555 千葉県稲毛区穴川4-9-1

【電話】 043-206-3239